

(仮称) 新・琵琶湖文化館に関する県民フォーラムⅡ「みんなで考える 新しい文化館の展覧会」
概要

【日時】 令和4年8月24日(水) 14:00~15:45
【聴講方法】 会場：コラボしが21、オンライン配信：zoom ウェビナー
【参加人数】 117名(会場：55名、オンライン配信：62名)

- 開講挨拶 村田 昌弥(文化財保護課長)
- 顧問挨拶 滋賀県顧問 津田 徹英氏(青山学院大学教授)※動画
- 趣旨説明 中井 裕昭(文化財活用推進・新文化館開設準備室長)

■講演

「新しい文化館の展覧会活動に期待すること」高梨 純次氏(秀明文化財団理事)

- ・新しい文化館の展覧会で留意してほしい点
 - ①文化財の現地保存主義
 - ②学術的に評価される質の高さ
 - ③展覧会を補完してゆく企画(CGなどの活用、他府県および海外での展覧会)
 - ④その他(堅実な展覧会、学校教育との連携)
- ・専任人員の速やかな配置が必要

■パネルディスカッション

「展覧会企画案プレゼンテーション」

- コメンテーター 對馬 佳菜子氏(合同会社 nagori 代表、観音ガール)
- ファシリテーター 高梨 純次氏
- パネリスト 井上 優(文化財保護課課長補佐、琵琶湖文化館副館長)
古川 史隆(文化財保護課副主幹、琵琶湖文化館副主幹)※動画
和澄 浩介(琵琶湖文化館主任学芸員)
田澤 梓(琵琶湖文化館学芸員)

プレゼン①井上

- ◎柔軟な発想や学芸員の創意、調査に基づく新知見の公表・・・魅力ある展覧会に必須
- 「近江の書ー古代木簡から「滋賀書道」までー」
 - ・書文化の歴史を通じ近江の先人と現在をつなぎ、地域文化としての「近江の書」の源流と伝統を追究
- 「未来をみつめた近江人たちー最澄・中江藤樹・木内石亭ー」
 - ・近江の人物史から、特に未来をみつめた人々に焦点を当て、歴史をたどりながら滋賀の未来を展望
- 「ユネスコ世界の記憶ー朝鮮通信使、智証大師円珍を中心にー」
 - ・古代より海外交流の先進地であった近江から発信。「世界の記憶」に登録された人類の知恵を紹介
- 「〇〇寺展ー新発見の文化財を中心にー」「文化財修理の世界、その魅力」
 - ・地域に埋もれた文化財の紹介や、地域文化財保護の取組を可視化した展覧会により、地域に根差した新しい博物館像・・・地域の文化財のサポートセンター

對馬氏コメント

- ・書は関心がないと「読めない」分野だが、版木などワークショップで結びつけやすい
- ・人物は共感が得やすく、今に生きる言葉を残しているので、そうしたところが見えると面白い

| |
|--|
| プレゼン②古川 |
| <p>●「近江 梵鐘めぐり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県に伝わる古代から近世までの梵鐘の名品を陳列し、優れた造形を鑑賞 ・梵鐘に関わる人（作者など）や歴史、海外との交流などについて学ぶ ・来館者が梵鐘のある社寺に足を運ぶきっかけを提供・・・文化観光の拠点ビジターセンター |
| <p>對馬氏コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梵鐘は身近な文化財であるし、デザイン性に注目させるなどすると共感を深めやすい ・実際に足を運び音が聞けるので、近江八景ならぬ「音八景」のような発信も可能 |

| |
|---|
| プレゼン③和澄 |
| <p>●「来館者と地域をつなぐ展示」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来のような展示作品の美的価値・歴史的価値に加え、展示作品が伝わった「場」、守ってきた地域の「人」、作品に関わる地域の人々の「営み」を伝える ・来館者の目を展示作品だけでなく「現地」にも向ける・・・文化観光の拠点ビジターセンター |
| <p>對馬氏コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場を想起する展示は、作品にインパクトを与える。塗香なども堂内の再現に有効 |

| |
|--|
| プレゼン④田澤 |
| <p>●「近江の文化財 里帰り展」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界には数多くの「近江の文化財」・・・海外から借用し、琵琶湖文化館収蔵品とともに展示 ・県内・国内・世界の「近江の文化財」をつなぐネットワークづくり→「流出文化財」から「世界に広がる近江の文化財」へ <p>●「子どもも楽しめる仕掛け」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財を未来に継承していくために、子どもが文化財に親しみ大切にする意識を育む ・展覧会のテーマにしたがった、子どもたちに訴求する展示の仕掛け |
| <p>對馬氏コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近江の文化財に対して考えてくれる仲間を作ることは地道だが重要 ・ワークシートや分かりやすいキャッチコピー掲載は、子どもだけでなく大人も学びにつながる |

全体へのコメント

(對馬氏)

- ・どの展覧会案も面白く楽しみである。
- ・自分が発信する際は、一般の人にどのように響かせるかに注意している。提案された展覧会では、歴史だけでなく「アート」「デザイン」「まちづくり」などに関心がある人にも響くようにできるだろう。
- ・知識ベースで楽しめる人もいるし、知識がない人のために感性を呼び起こさせる仕掛けも必要。

(高梨氏)

- ・一般の皆様は時にご批判いただきながら博物館を育てていく必要があるのでは、今後とも支援をお願いしたい。

(仮称)新・琵琶湖文化館に関する県民フォーラムⅡ「みんなで考える新しい文化館の展覧会」

終了後アンケート概要

①回答者について

- ・年代は**70代以上(31%)**が最も多く、60代(23%)を含めると、54%と半数を超える。
- ・お住まいは県内(63%)が過半数で、特に大津市内(全体の42%)が多く、**地元から注目**されていることを示す。
- ・昨年度の県民フォーラムに参加した(26%)、基本計画を読んだことがある(72%)と、**以前から新文化館に関心が高い**回答者が多かった。

②県民フォーラムの満足度・意見

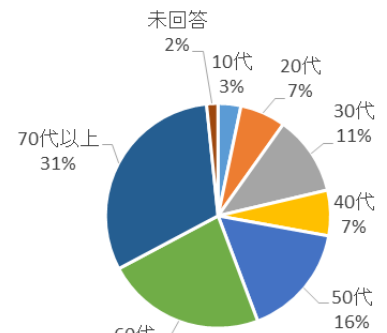
- ・大変満足(21%)、満足(53%)、やや満足(16%)の合計90%と、**満足度が非常に高い**。
- ・気になるプレゼンは複数回答(16%)も見られ、期待の高さがうかがえる。
- ・新文化館の展覧会活動への意見については、応援(7人)が多くあったほか、**親しみのない人でも分かりやすい展覧会**を要望する意見(5人)があった。
- ・今後の県民フォーラムへの意見については、**継続の希望**(7人)が多くあった。

参加者数：117人(会場：55人、配信：62人)
アンケート回答数：61人(会場：35人、配信：26人)

回答者について

・年代

10代：3%(2人)、20代：7%(4人)、30代：11%(7人)
40代：7%(4人)、50代：16%(10人)、60代：23%(14人)
70代以上：19人、未回答：1人

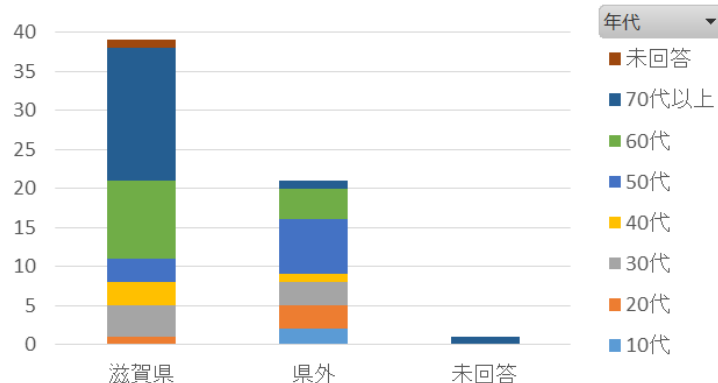
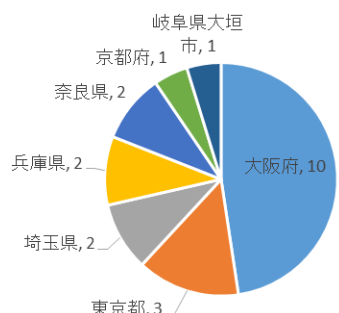
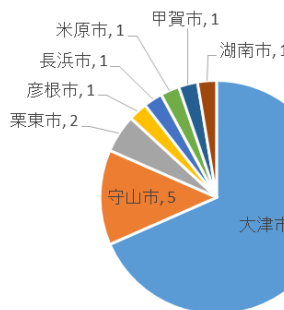


・お住まい

滋賀県：64%(39人)、県外：34%(21人)
未回答：1人

大津市：26人、守山市：5人、栗東市：2人
彦根市：1人、長浜市：1人、米原市：1人
甲賀市：1人、湖南市：1人

大阪府：10人、東京都：3人、埼玉県：2人
兵庫県：2人、奈良県：2人、京都府：1人、岐阜県：1人



・令和3年11月開催の県民フォーラムに参加されましたか？

※(仮称)新・琵琶湖文化館に関する県民フォーラム「新しい文化館を考える」(令和3年11月7日開催)
参加した：26%(16人)、参加していない：74%(45人)

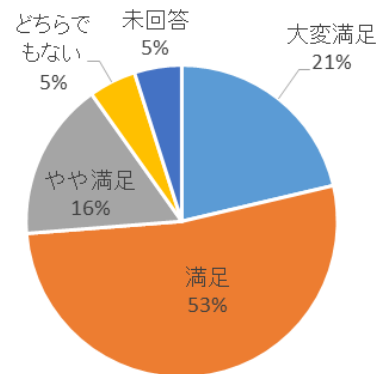
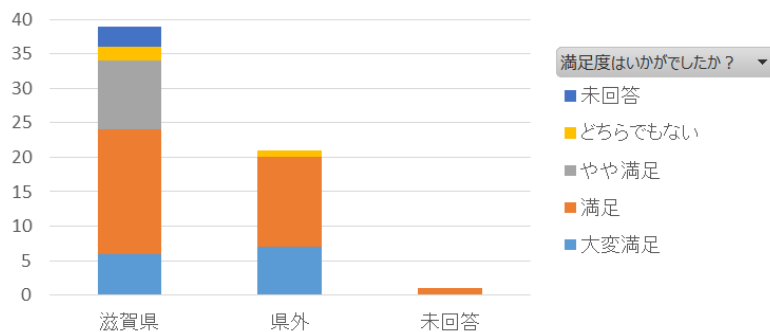
・「(仮称)新・琵琶湖文化館基本計画」をご覧になったことはありましたか？(説明資料でも可)

読んだことがある：72%(44人)、読んだことがない：28%(17人)

県民フォーラムの満足度

・満足度

大変満足：21%（13人）、満足：53%（32人）、やや満足：16%（10人）
どちらでもない：5%（3人）、未回答：5%（3人）



自由記述欄の主なご意見

① 最も気になる展覧会案プレゼンはどれでしたか？その理由やご意見：回答数42人

地域の文化財に関する肯定意見（8人）

滋賀県の文化財を訪ねた際、地域の方が説明をしてくれました。仏様はこの人たちに守られているのだなど強く感じました。ただ一方、**高齢化や過疎化によって、貴重な文化財をどう保存していくかを考えることは大事なことで、新文化館がその端緒となる活動をしていく役割なのだと思います。**

子ども向けの展示に関する肯定意見（6人）

これからの文化(財)継承には子ども達への情報提供が不可欠になると思います。文化や歴史に目を向けさせるような、**興味を持ってもらえるような企画**が大事だと思います。

音を活用した展示に関する肯定意見（4人）

梵鐘は見るだけのものではなく、**音が知りたい**。録音できるものは、その音を流してほしい。

② 今回のフォーラムをふまえた、展覧会活動に関するご意見をお知らせください：回答数35人

継続希望や応援メッセージなどの肯定意見（7人）

今回の展覧会企画のプレゼンテーションスタイルは大変有意義でした。**可能な限り継続**していただけると、整備の機運が盛り上がっていくのではと考えます。

入門者向けの展示に関する提案意見（5人）

素人さんにも**わかりやすく興味を持たれるように工夫**して展覧会の企画をしていただきたいと思います。

予算に関する提案意見（2人）

新文化館での展示をきっかけとして、文化財に足を運んでいただき、**保存や活用に必要な資金**が得ることが出来ればよいのではないかと。展覧会活動から色々なジャンル、ターゲットにつながればよい。

人員に関する提案意見（2人）

きびしい時代と思いますが、がんばって下さい。学芸員は若い人も増えてきているのですね。大切なことは色々あると思いますが、**人材が大切**と考えています。

③ 今後の県民フォーラムへのご意見がありましたらご記入ください：回答数17人

継続希望や応援メッセージなどの肯定意見（7人）

今回は展覧会主体のフォーラムでしたが、今後開館するまでハード・ソフト面について**随時県民に情報公開と意見の聴取**をお願いしたい。

会場やオンライン配信に関する提案意見（5人）

オンライン聴講は必須でお願いいたします。